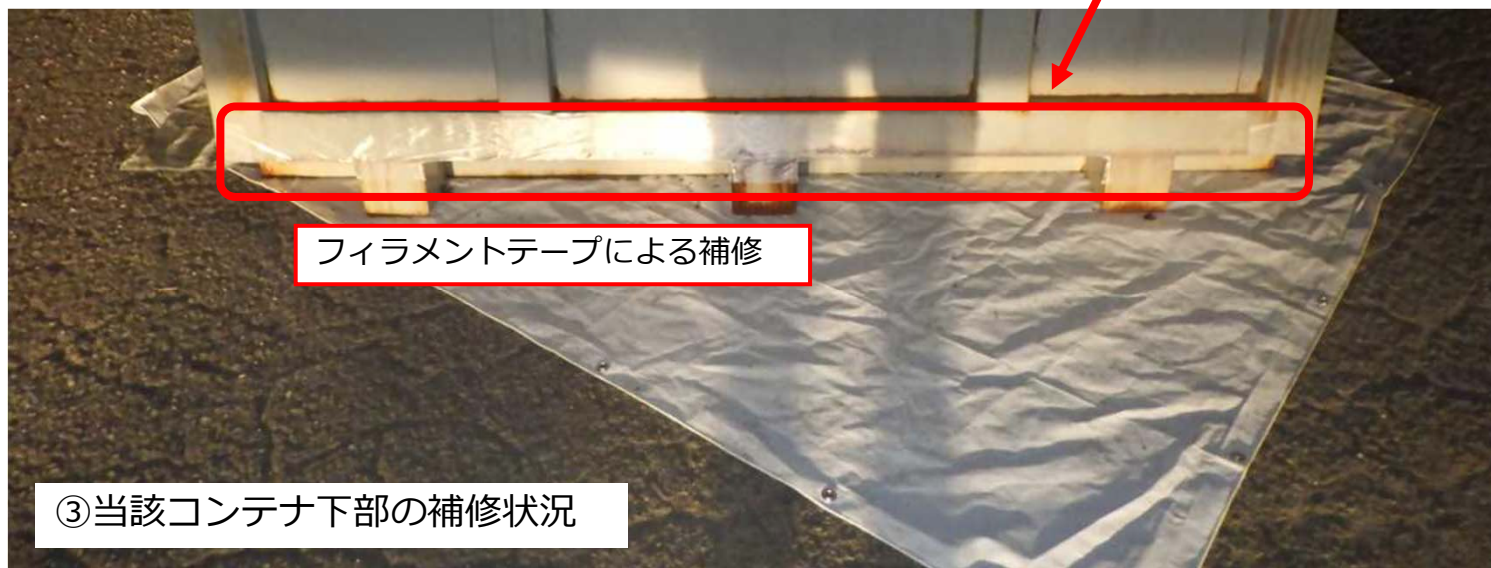


福島第一原子力発電所 ガレキ類収納容器下部からの水の滴下について（続報）

< 参 考 資 料 >
2021年11月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 10月29日午後3時46分、固体廃棄物貯蔵庫第1棟の西側にある仮設集積場所に仮置きしているガレキ類収納容器（以下「コンテナ」）の下部から水が滴下（10秒に1滴程度）していることを当社社員が発見しました。
- 滴下範囲は約1m×2m（深さ無し）であり、滴下した水については、吸着マットによる拭き取りを実施しています。また、側溝等への流入が無いことを確認しています。
- 当該コンテナには、金属ガラを保管しており、コンテナ内の水の放射能濃度分析結果は以下の通りです。[採取日:2021年10月29日]
セシウム134:7.2Bq/L、セシウム137:160Bq/L、全ベータ放射能:190Bq/L
(以上、11月1日午前お知らせ済み)
- また、11月1日午前11時5分頃、同場所（固体廃棄物貯蔵庫第1棟西側の仮設集積場所）に仮置きしている、10月29日に滴下が確認されたコンテナとは別のコンテナの下部から水が滴下（10秒に1滴程度）していることを福島県職員が発見しました。
- 滴下範囲は約60cm×60cm（深さ無し）であり、滴下した水については、吸着マットによる拭き取りを実施しています。また、側溝等への流入が無いことを確認しています。
- 当該コンテナには、金属ガラを保管しており、今後、準備が出来次第、コンテナ内の水の放射能濃度を分析予定です。
- 上記の2基のコンテナについて、フィラメントテープによる補修を行うとともに、水抜きを実施しております。
- 敷地境界モニタリングポスト、構内排水路モニタ、構内ダストモニタ等に有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- 今後、原因究明および再発防止対策を速やかに行い、廃炉作業を安全最優先で着実に進めてまいります。

【参考】現場の状況(10月29日発生分)



【参考】時系列

10月29日

午後3時46分 水の滴下発見

午後5時30分頃 滴下した水の拭き取り完了

午後5時40分頃 フィラメントテープによる補修完了

午後10時12分 水抜き完了

11月1日

午前11時5分頃 水の滴下発見

午後0時50分頃 滴下した水の拭き取り完了

午後1時47分頃 フィラメントテープによる補修完了

午後3時7分頃 水抜き完了